

住宅改修費支給に係る参考資料

1 介護保険制度における住宅改修

(1)住宅改修の概要

在宅の要介護者が、手すりの取付け等の一定の住宅改修を実際に居住する住宅について行ったときは、住宅改修費が償還払いで支給されます。

支給額は、改修費の9割(8割・7割)相当額で、支給限度基準額の9割(8割・7割)を上限とします。

支給は、広域連合が要介護者の心身の状況や住宅の状況から必要と認めた場合に行われ、支給を受けるためには、改修前と改修後にそれぞれ申請が必要です。

(2)住宅改修の種類

- ① 手すりの取付け
- ② 段差の解消
- ③ 滑りの防止及び移動の円滑化等のための床又は通路面の材料の変更
- ④ 引き戸等への扉の取替え
- ⑤ 洋式便器等への便器の取替え
- ⑥ その他①～⑤の住宅改修に付帯して必要となる住宅改修

(3)支給限度基準額

住宅改修の支給限度基準額は、同一住宅・同一対象者で20万円です。

★支給限度基準額がリセットされる場合

- ① 転居した場合
- ② 要介護状態が著しく重くなった場合(下表3段階以上、上がった場合)

第一段階	第二段階	第三段階	第四段階	第五段階	第六段階
要支援1	要支援2 要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5

※初めて住宅改修費が支給された住宅改修の着工日の要介護等状態区分が基準となります。

(4)対象要件

次の要件を満たし、住宅改修を実施した場合に対象となります。

- ① 介護認定を受けており、認定期間中であること。 ※申請中に事前申請することは可能。
- ② 改修を行う住宅が、被保険者証に記載の住所であり、実際に居住している住宅であること。
- ③ 本人が在宅であること。(入院・入所中は不可)

※在宅の予定がある場合の事前申請は可能。ただし、事後申請は在宅となった後に提出。

退院・退所でできなかった場合は、住宅改修の対象となりません。

- ④ 住宅改修の着工前に事前申請をして、承認されていること。

2 住宅改修費の支給申請

(1)事前相談

利用者は、住宅改修を行う前に、ケアマネジャーに希望を伝え、改修内容を相談します。
その上で、改修を行う場合は、ケアマネジャーに「住宅改修が必要な理由書」の作成を依頼します。

(2)住宅改修事業者の決定

高齢者が対象となる住宅改修では、通常のリフォーム以上に依頼者の生活全般への理解と配慮が不可欠であるため、利用者は、ケアマネジャーの協力を得ながら、できる限り複数の事業者から見積りを取った上で、施工業者を決定してください。

(3)支給申請(事前)

工事着工前に、以下の書類を各市介護保険担当課へ提出し、事前申請をしてください。

- ① 介護保険居宅介護(介護予防)住宅改修費支給申請書
- ② 住宅改修が必要な理由書
- ③ 見積書又は工事費内訳書

※広域連合の標準様式で作成する。(広域連合 HP に様式あり)

※標準様式の内容をすべて満たした内容であれば独自様式でも可。

※被保険者のフルネーム、業者名・住所・連絡先・担当者名、作成日を記載する。

- ④ 改修前の写真(日付入り)

- ⑤ 改修後の状態が確認できる図面

※改修前の写真に改修箇所・改修内容を示していただく形で確認することができれば不要。

- ⑥ 住宅全体の平面図

※本人の生活動線上の各部屋や廊下等の配置が分かるものであれば可。(手書き可)

※面積等を正確に計測した図面である必要はない。

※改修箇所を示す。

【必要に応じて添付する書類】

- ① 改修を行う住宅が申請者の所有でない場合、所有者の承諾書

※日付は工事着工日より前にすること。

《理由書作成に当たっての注意点》

・理由書P2の②「具体的な困難な状況」は、動作の流れに沿って一つずつ見極め、できるだけ詳しく記入する。

・理由書P2の③「改修の方針」の欄も、改修することにより利用者等はどのような効果が得られるかについて具体的に記入する。

《写真撮影にあたっての注意》

- ・撮影に当たっては、デジカメの日付入りの写真又は、日付の入った黒板や紙などを置き、写真に差し込むようにする。
- ・段差解消の場合は、メジャーなどを写真に写しこみ、改修の前後で、段差が解消された様子がわかるようにする。
- ・改修前後の写真は同じ角度から撮り、改修前後の様子がわかるようにする。
- ・完成後の写真では確認できない部分がある場合は、施工中の写真も撮影する。
- ・スロープや式台等は、固定されていることがわかるような写真にする。
(ビスでとめた部分や、スロープの裏の両面テープを撮影するなど)

《内訳書作成にあたっての注意》

- ・内訳書(見積書)の作成に当たっては、工事を行った箇所、内容及び規模を明記し、材料費、施工費、諸経費等を適切に区分する。(在工一式の表示はできるだけ避ける)
- ・支給対象となる住宅改修と併せて支給対象外の工事も行われた場合、対象部分の抽出・按分等の適切な方法で支給対象費用を算出する。
- ・ユニットバスにする場合は、浴槽撤去費、浴槽代、浴槽設置代、洗い場床撤去代、洗い場床材代、洗い場床はり代・・・等細かく按分すること。按分できないものは対象外。

(4)審査・確認

広域連合において、提出された書類で当該住宅改修が保険給付として適当なものかどうか確認し、その結果をケアマネジャー(理由書作成者)に対し、電話にて教示します。必要に応じて、書類の修正依頼や改修理由の確認などを行います。

《注意》

- ・あくまで工事が保険給付として適当なものかどうかの書類審査です。支給決定は完了届提出後の審査により決定します。
- ・原則は承認を受けた介護保険対象工事の種類や数を変更しないで下さい。ただ、承認後に体の状態が変化したりして、必要のない工事や必要な工事に気づいたときは、以下のパターンに応じて対応してください。

【介護保険対象工事の種類や数が増えたとき】

追加した工事について、住宅改修が必要な理由書P2・訂正した内訳書(追加部分は朱書き)・改修前の写真・改修後の状態が確認できる図面を速やかに提出する。

【工事の種類が減った、または種類に変更はないが、材料等の変更により見積りが変更になったとき】

事後申請時に、変更になった部分を朱書きした内訳書と改修後の状態がわかる図面を添付する。

(5)施工

工事完了後、改修後の写真を日付入りで撮影してください。

完成後では、確認できない部分がある場合は、施工中の写真も撮影してください。

(6)事後申請(完了届)

工事完了後、以下の書類を各市介護保険担当課に提出し、事後申請をしてください。

① 完了届

② 領収証

※宛名は、被保険者氏名をフルネームで記載する。

※領収証の金額と内訳書の合計は同じにすること。(値引き等も内訳書に記載する)

※収入印紙が必要な場合は添付する。

③ 工事費内訳書

※広域連合の標準様式で作成する。(広域連合 HP に様式あり)

※標準様式の内容をすべて満たした内容であれば独自様式でも可。

※被保険者のフルネーム、業者名・住所・連絡先・担当者名、作成日(工事完了後)を記載する。

※値引きや材料変更等で金額が変更になった場合は、変更箇所を朱書きし、変更内容が分かるようにする。

④ 改修後の写真(日付入り)

※改修前後の写真は同じ角度から撮り、改修前後の様子がわかるようにする。

※完成後では、確認できない部分がある場合は、施工中の写真も撮影する。

(7)支給決定及び支払い

広域連合において、事前・事後の提出書類一式揃った時点で、審査・確認し、支給の可否を決定します。その結果については、「償還払支給決定通知書」により利用者に通知します。支給決定の時期は、原則、事後申請を行った月の翌々月となります。

支払いは、支給決定日の属する月の末に口座振り込みにより行います。

3 住宅改修費の算定の仕方

(1)新築または増築の場合

住宅の新築:住宅改修費の支給対象外。

住宅の増築:新たに居室を設ける場合等は住宅改修費の支給対象とならないが、廊下の拡幅にあわせて手すりを取付ける場合、便所の拡張に伴い和式便器から洋式便器に取り替える場合等は、それぞれ「手すりの取り付け」、「洋式便器等への便器の取替え」にかかる費用についてのみ対象となる。

(2)住宅改修費の支給対象外の工事もあわせて行われる場合

【支給対象分の抽出】

支給対象部分について、面積、長さ等数量を特定して抽出し、それぞれに単価を乗じて金額を算定する。

【按分による方法】

解体費や材・工に区分するのが困難な工事科目については、有意な方法で対象範囲を按分し、その根拠を明示する。

(3)被保険者等が自ら住宅改修を行った場合

被保険者が自ら住宅改修のための材料を購入し、本人または家族等(同居)により住宅改修が行われる場合は、材料の購入費のみを住宅改修費の支給対象とする。この場合の領収証は材料の販売者が発行したものとし、添付する工事費内訳書は、使用した材料の内訳を記載したものを本人または家族等が作成する。

(4)一つの住宅に複数の被保険者がいる場合

住宅改修費の支給限度額の管理は、被保険者ごとに行われるため、被保険者ごとに住宅改修費の支給申請を行うことができます。ただし、一つの住宅で複数の被保険者にかかる住宅改修が行われたとき、各被保険者ごとに対象となる工事を設定し、それが重複しないようにしてください。

つまり、手すりを複数箇所設置した場合は、被保険者ごとに箇所を分けてそれぞれ申請できますが、同一の便器の取替えに40万要した場合に20万ずつ申請することはできないこととなります。